

農業技術センターニュース

目次					
	暖房機を利用したオオバ斑点病の防除	…1		ヒートポンプエアコンを利用したユリの夜冷栽培の収益性	…4
	促成キュウリ栽培における基肥リン酸削減の目安	…2		ヒートポンプエアコンの夏期の夜間冷房性能	…5
	早どり栽培と光照射追熟を組合わせた3色ピーマンの増収技術	…3		水稲用除草剤の河川流出モニタリング	…6

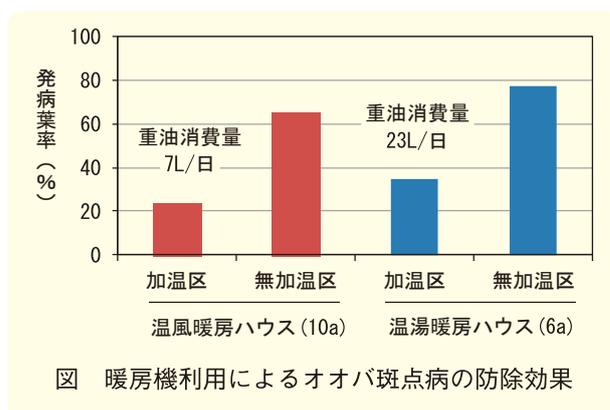
暖房機を利用したオオバ斑点病の防除

オオバ斑点病（写真）は高温期に発生が多い病害で、登録農薬が少ないことから生産者は防除に非常に苦慮しています。斑点病の発生は葉に結露が発生することにより助長されますが、暖房機で加温すると湿度が低下するので、結露を防ぐことができます。そこで、結露センサー付き暖房機制御装置（商品名：まもるん）を用いて暖房機を稼働させ、防除効果を検討しました。

まず所内で試験を行った結果、ハウス内の結露値（葉の結露の程度を示すまもるん固有の値）を100以下に保つように加温すると防除効果が高いことがわかりました。この結果を基に、6～7月に現地ハウスで実証試験を行ったところ、防除効果を確認



写真 オオバ斑点病



できました。しかし、防除のために毎日加温すると、特に温湯暖房ハウスでは燃料消費量が多くなってしまいました（図）。そこで、燃料消費量が少なく、かつ防除効果が高い暖房機利用方法を検討した結果、曇雨天が18時間以上続くと予想される時だけ加温を行えばよいことがわかりました。

今後、さらに現地ハウスで試験を実施して、低コストで防除効果の高い暖房機利用方法を確立し、生産現場への普及を図っていきたいと考えています。

なお、本試験は農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」の中で実施しています。

（病理担当 下元祥史 088-863-4915）